



利用者も増加、視察者も相次ぐ 大学生が運営に参画する「子ども食堂」に注目！

大学生が運営に参画する「子ども食堂」が本年4月にオープン

社会福祉を学んでいる追手門学院大学社会学部の古川隆司ゼミの学生らが運営に関わり、「子ども食堂」が4月にオープン。

初回となる4月25日の利用者は35名でしたが、5月30日の利用者は50名を超えました。この日は近くの中学校の校長先生も来訪し、友達と会話を楽しみながらにぎやかに食事をする子ども達の様子を見学しました。

3回目となる6月27日は、大阪府社会福祉協議会からの見学の他、同じ追手門学院大学社会学部の2つのゼミから学生達約40名も見学を訪れることになっています。

子ども達の支援に加え、教育現場としても注目を集め始めています。

「子ども食堂」とは

子どもが一人でやってきても気軽に食事ができる場を地域ぐるみで提供する取り組みのことです。今回オープンした「子ども食堂」は、追手門学院大学近くの茨木市耳原地区にある建物を改修した交流施設「子民家よってこ」で実施しているもので、地域の人たちが運営しています。対象は小学生以下の子どもに加え、子どもとその保護者までを対象にしています。4月から毎月1回、最終火曜日の夕方にオープンしています。

【次回の子ども食堂】

日時：2017年6月27日(火) 16時スタート(18時まで)

会場：子民家よってこ(茨木市耳原3-6 耳原児童遊園内)

内容：子どもおよびその保護者への夕食の提供

子どもは100円、保護者は300円の個人負担。

大阪府社会福祉協議会、他のゼミの学生達も見学の予定。

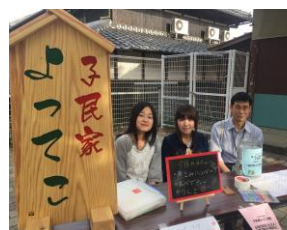
「子ども食堂」に学生が参画

古川ゼミの学生達は、昨年、地域の人たちによる「子民家よってこ」のリフォーム作業を手伝いました。

3月29日にはプレオープンイベントを行い、学生ら7人が地域の人たちが準備したカレーライスとサラダの配膳を担当し、子ども達との交流を楽しみました。4月と5月も同様に開催しています。

茨木市社会福祉協議会によりますと、茨木市内にはNPO法人が実施している子ども食堂が4か所あるということですが、こうした学生が参画する形は初めてだということです。

ぜひ取材をご検討ください。



子ども食堂受付



配膳する学生

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立